第8期上尾市高齢者福祉計画・介護保険事業計画の進捗について



I

概要

I

第8期計画の進捗評価と課題

- ・基本目標
- ・重点プロジェクト
- ・評価指標

Ш

基盤整備状況



まとめ

I

概要

進捗管理の目的

計画に記載したとおり取組を実施したとしても、その取組により地域課題が必ずしも 解決しているとは限りません。

PDCAサイクルの考えに基づき、年1回、各施策について効果的な施策となるよう 点検や評価を行い、必要に応じて見直す必要があります。

■PDCAサイクルのイメージ



- P 計画を策定する
- 】 計画を実行する
- C 各種施策の点検・評価を行う
- ▲ 必要に応じて計画の見直しを行う

п

第8期計画の進捗評価と課題

第8期計画で掲げている以下の3つの基本目標に沿って、進捗状況や 課題をみていきます。

基本目標1 安心・安全 ~地域包括ケア体制の整備~

基本目標2 生きがい ~社会参加の推進~

基本目標3 健康 ~健康寿命の延伸~

基本目標1 安心・安全 ~地域包括ケア体制の整備~

·····································	取組数	進捗評価				
心中的一种一种一种一种一种一种一种一种一种一种一种一种一种一种一种一种一种一种一种	月 又亦且 女义	Α	В	С	D	Е
(1) 相談体制の充実	4	1	3			
(2) 生活支援の充実	5	2	3			
(3) 見守り体制の充実	7	2	5			
(4)住まい・移動(外出)の支援	5	2	3			
(5) 在宅医療・介護連携の推進	3	2	1			
(6) 成年後見制度の利用促進	4	4				
(7) 人材の確保・育成	5	2	2	1		
(8) 災害や感染症対策の体制整備	2	1	1			
計	35	16	18	1		

■事業進捗評価

A:計画通り(またはほぼ計画通り)に順調に推移している

C:計画よりやや遅れが生じている

E:未実施

B: 概ね計画通りに推移している

D:計画より遅れが生じている

基本目標1 安心・安全 ~地域包括ケア体制の整備~

(7) 人材の確保・育成について

ケアマネジャーの研修等

概要と方針

多様化する介護二ーズに対応し、常に適切な介護サービスを提供するためには、 ケアプランを作成するケアマネジャーの能力を向上させることが必要です。

そのため、毎年、スキルアップを目的とした研修や困難ケース等についての事例 検討会、ケアプランのチェックなどを実施しています。

個別のケアプランを多職種により、検討・助言する「自立支援型地域ケア会議」 を実施します。

実績

ケアマネジャーのスキルアップ研修の実施

自立支援型地域ケア会議の実施

課題

ケアプランのチェックについて、多くの件数をチェックすることができなかった ため、今後は必要な点検数を確保しつつ、質の向上を図る必要があります。

基本目標2 生きがい ~社会参加の推進~

施策名	取組数	進捗評価				
心界在	月 以7日女人	Α	В	С	D	Е
(1) スポーツ・レクリエーション活動等の支援	5	2	3			
(2) 生涯学習の推進	3	1	1	1		
(3)地域活動・ボランティア活動の推進	5	2	3			
(4) 就業の支援	2		2			
(5) 多世代交流の推進	3	2	1			
計	18	7	10	1		

■事業進捗評価

A:計画通り(またはほぼ計画通り)に順調に推移している

C:計画よりやや遅れが生じている

E:未実施

B:概ね計画通りに推移している

D:計画より遅れが生じている

基本目標2 生きがい ~社会参加の推進~

(2) 生涯学習の推進について

上尾市まなびすと指導者バンクの運営

概要と方針

生涯学習推進のため、文化・芸術活動や趣味、スポーツ、健康・福祉や家庭 教育等の各分野から、さまざまな人に指導者(市民講師)バンクに登録いた だき、学習者に指導者情報を提供しています。

実績

指導者の情報提供の実施

課題

登録者数が減少傾向にあるため、周知方法を見直すなどして、高齢者の活動 の場を確保することが必要となります。

基本目標3 健康 ~健康寿命の延伸~

施策名	取組数	進捗評価				
	月又亦且安义	Α	В	С	D	E
(1) 認知症施策の推進	7	4	3			
(2)介護予防の推進	5	3	2			
(3)健康づくりの推進	6	3	2	1		
(4) 生活習慣病予防・特定健診の推進	4		4			
計	22	10	11	1		

■事業進捗評価

A:計画通り(またはほぼ計画通り)に順調に推移している

C:計画よりやや遅れが生じている

E:未実施

B: 概ね計画通りに推移している

D:計画より遅れが生じている

基本目標3 健康 ~健康寿命の延伸~

(3)健康づくりの推進について

からだの健康

概要と方針

壮年期からのからだの健康づくりを推進するため、効果的な方法やプログラムを 検討し、次の事業に取り組みます。

(ア)健康面全般や食事、運動、歯科に関する疑問や悩み、健診結果の見方等について相談できる「健康応援相談」を実施しています。相談内容に応じて専門的な対応ができるよう、保健師、栄養士、健康運動指導士、歯科衛生士が個別の相談に応じます。

(イ)健康に関する各種テーマに応じて「あげお市政出前講座」を行っています。 そのうちの「健康長寿サポーター養成講座」では、健診・食事・運動など、 健康寿命の延伸に関して学べます。

引き続き、からだの健康づくりを支援するため、各種事業を実施していきます。

実績

健康応援相談の実施 健康長寿サポーター養成講座の実施

課題

健康応援相談の実施において、参加者を増加させるため、実施方法を検討するなどして、自身の健康状態に関心を持ってもらうことが必要となります。

第8期計画で掲げている以下の3つの重点プロジェクトについて、進 捗状況や課題をみていきます。

(1)介護予防の推進

(2)移動支援の充実

(3)介護人材の確保

重点プロジェクト(1)介護予防の推進

後期高齢者において要介護認定者が増加しているため、総合事業における一般介護予防事業を推進しつつ、住民主体の通いの場の充実や地域のつながりを強化していく必要があります。

住民主体の通いの場へ、関係団体と協力し専門職の派遣等を行うなどにより、充実を図り、参加者や通いの場が継続的に拡大していくよう支援を行います。

また、医療・介護のデータから地域の健康課題を把握し、フレイル 予防等を目的とした個別的な保健指導や健康教育・健康相談等を実施 するなど、高齢者の心身の多様な課題に対応し、きめ細かな支援を実 施します。

(第8期上尾市高齢者福祉計画・介護保険事業計画より抜粋)

重点プロジェクト(1)介護予防の推進

実績

	第8期計画				
	令和3年度	令和5年度			
みのり倶楽部の参加者数(人)※	243	228	264(見込)		
通いの場づくりの支援団体数(団体)	38	73	82		

※みのり倶楽部

地域包括支援センターが実施する認知症予防のための教室。

課題

介護予防の取組について、より一層普及することが必要となります。 また、多様な社会参加の場につなげるために、通いの場を把握することが必要となります。

重点プロジェクト(2)移動支援の充実

高齢になっても今まで暮らしてきた地域で安心して暮らし続けるためには、介護予防の観点からも通院や買い物等の日常的な「移動・外出」の手段の確保は欠かせないものです。

第7期計画期間中に介護予防・日常生活支援総合事業の訪問型サービスD(移動支援)を開始しましたが、サービス提供者が不足している状況です。

引き続き、市民団体や福祉事業者等に働きかけるなど、地域における移動支援サービスの充実を図る取組を進め、高齢者の外出を促進します。

(第8期上尾市高齢者福祉計画・介護保険事業計画より抜粋)

実績

重点プロジェクト(2)移動支援の充実

	第8期計画					
	令和3年度	令和4年度	令和5年度			
訪問型サービスD事業 補助金交付団体数(団体)	1	2	2			

※訪問型サービスD

高齢者(要支援1・2 事業対象者)が通院や日常の買物の付き添いの際に利用できる、ボランティア等による移送の生活支援サービス。

課題

上尾市内に、移動支援を実施している団体が少ないため、今後は利用者と事業者のニーズを調査しつつ、地域での支え合い活動を実施している事業者等と連携し、地域特性を生かした移動支援の充実を図る必要があります。

重点プロジェクト(3)介護人材の確保

高齢者数の増加に加え、多様化する福祉二一ズに対応するためにも、 介護人材の確保の取組をさらに強化していく必要があります。

介護施設で働くための資格取得を支援する研修の開催や、介護事業者に対して、技能実習生として外国人介護人材を受け入れる仕組み等に関する説明会を開催するなど、不足している介護人材を確保する取組を進めます。

(第8期上尾市高齢者福祉計画・介護保険事業計画より抜粋)

実

重点プロジェクト(3)介護人材の確保

	第8期計画				
	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
介護に関する入門的研修の受講者数(人)	16	18	17(見込)		
喀痰吸引等研修の受講者数(人)※1	10	9	9(見込)		
外国人介護人材確保推進事業 補助金交付事業所数(事業所)※ 2	未実施	1	3(見込)		

- ※1 喀痰吸引等を行える介護職員を増やし、介護事業所等の負担軽減を図るもの。
- ※2 技能実習制度を利用して日本で介護職として働くために来日する外国人に対し、 住居の斡旋や電化製品・家具等ハード面での支援をするもの。

課題

高齢者人口の増加による介護二一ズの高まりに対応できるよう、介護人 材確保を推進するための事業を引き続き実施していくとともに、事業の改 善等を行う必要があります。 第8期計画で掲げている以下の評価指標について、進捗状況や課題を みていきます。

(1)介護予防・重度化防止の推進

(2)介護給付の適正化の推進

(3)要介護(支援)者に対するリハビリテーション

評価指標(1)介護予防・重度化防止の推進

【 指標 1 】介護保険サービス利用者で在宅生活をしている高齢者の割合 (居宅サービス受給者数÷総受給者数)

H31実績	R5目標	R5実績
78.7%	79.0%	79.2%

【 指標 2 】 地域における通いの場の団体数(サロン・体操・老人だんらんの家等)

H31実績	R5目標	R5実績
193団体	196団体	214団体

評価指標(2)介護給付の適正化の推進

【指標3】ケアプランの点検実施件数

H31実績	R5目標	R5実績
63件	100件	24件

【課題】

点検数の増加による給付の適正化を図っておりましたが、対面による実施のため、コロナウイルス感染症予防の観点から、点検数が減少しました。今後は必要な点検数を確保しつつ、質の向上を図る必要があります。

評価指標(3)要介護(支援)者に対するリハビリテーション

【 指標4 】理学療法士・作業療法士・言語聴覚士の従事者数

H31実績	R5目標	R5実績
80人	87人	93人

【 指標 5 】 訪問リハビリテーション、通所リハビリテーション提供事業所数

H31実績	R5目標	R5実績
14事業所	16事業所	14事業所



基盤整備状況

1. 施設系サービス

		第8期計画		ΞL	
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	計
◆雑女 し 行かしを示 (亡)	計画	0	90	180	270
介護老人福祉施設(床)	実績	138	100	(0)	238
性	計画	0	0	0	0
特定施設入居者生活介護(床)	実績	40	0	(0)	40

介護老人福祉施設

令和3年度 上平地区 66床

大石地区 72床

令和4年度 上平地区 100床

特定施設入居者生活介護

令和3年度 大谷地区 40床

※県協議後の採択床数

2. 居住系サービス

		第8期計画			i †
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	āl
認知症対応型共同生活介護(床)	計画	0	18	18	36
	実績	18	0	(18)	36

※市協議後の採択床数

令和3年度 大石地区 18床 令和5年度 原市地区 18床

3. その他の地域密着型サービス

		第8期計画			≡⊥
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	計
看護小規模多機能型居宅介護(か所)	計画	1	1	1	3
	実績	0	0	(1)	1
小規模多機能型居宅介護(か所)	計画	随時	随時	随時	_
	実績	2	0	(0)	2

小規模多機能型居宅介護

令和5年度 原市地区 1か所

小規模多機能型居宅介護

令和3年度 原市地区 1か所 大石地区・1か所 ※市協議後の採択件数



まとめ

IV まとめ

1. 生きがいや地域活動に関すること

○高齢者を生きがいや外出機会につながる地域活動へとつなげる取組が必要

2. 介護予防、健康づくりに関すること

- ○介護予防に係る取組の普及や、介護予防活動の場の把握が必要
- ○健康づくりへの関心を高める取組が必要

3. 在宅生活に関すること

○地域特性を生かした移動支援の充実が必要

4. 介護人材の確保・育成に関すること

- ○介護人材の確保に向けた取組の推進が求められる
- ○ケアプランチェック等を通して、ケアマネジャーの資質の向上が求められる